

令和元年度 建設部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策（建設部関係分）

政策 04 安全・安心	政策展開の方向性							
	交通安全や防犯活動の推進、生活衛生環境や冬期生活環境の充実などを通じて安全で快適な社会環境を築いていくとともに、地域防災力の向上や消防・救急体制の充実を図ることにより、災害に強く、だれもが末永く安心して暮らせるまちづくりを進めます。							
	令和元年度の取組状況報告							
	04-01 安全な暮らしの確保							
	<ul style="list-style-type: none"> 空家等がもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画に基づき、所有者等の管理意識の醸成と関係団体との連携による空家等の発生抑制及び利活用の推進を図るとともに、所有者等への情報発信や相談への対応、特定空家等の除却・解体支援、助言・指導等を行いました。 							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H29年度	H30年度	R元年度	目標
	安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合		%	78.2	81.9	83.1	85.1	↗
	災害対策が充実し安心と思う市民割合		%	52.1	55.9	56.2	54.2	↗
	消防・救急活動に満足している市民割合		%	89.5	93.5	92.9	93.3	↗
	建設部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「空家等対策推進事業」 管理不全な空家家の解消件数		件	-	-	14	35	↗	
政策 05 都市 基盤	政策展開の方向性							
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。							
	令和元年度の取組状況報告							
	05-01 市街地整備の推進							
	<ul style="list-style-type: none"> 江別の顔づくりでは、野幌駅南通(第2工区)や都市緑地等の整備を実施し、全ての基盤整備を完了しました。 市営住宅整備の推進では、市営住宅長寿命化計画に基づく新築団地の建替えを実施し、D棟(48戸)が完成しました。 国、道、市策定の「住生活基本計画」等を踏まえ、次期「江別市営住宅長寿命化計画」の見直しに向けた市営住宅の現況調査等を行いました。 住みかえ支援の推進では、住宅取得等にかかる費用の一部助成を実施し、多世代同居・近居支援や多子世帯支援により、転入促進及び転出抑制を図りました。 							
	05-02 交通環境の充実							
	<ul style="list-style-type: none"> 安全で快適な道路環境づくりでは、未整備の百間境道路の整備に取り組み、利用者が安心して通行できる道路環境づくりを進めています。令和元年度は、元江別66号道路の整備に向けた物件調査、用地取得及び物件補償を行いました。 冬期間の交通の確保では、降雪や道路状況に応じた除排雪作業を実施したほか、除雪車両の更新を行いました。また、市内全域の自治会排雪で統一した休養日を設ける等、従事者の労働環境の改善に取り組んだほか、除排雪三者懇談会や広報折込チラシ・自治会回覧等の活用により、市民ニーズの把握や除排雪業務への市民理解の促進に努めました。 							

政策の成果指標	単位	(初期値)	H29年度	H30年度	R元年度	目標
市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)	%	76.7	80.2	80.0	82.7	↗
交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	57.9	64.4	63.6	66.6	↗
建設部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「江別の顔づくり事業(街路事業等)」事業費進捗率(累計)	%	13	51	73	100	↗
「江別の顔づくり事業(野幌駅周辺土地区画整理事業)」事業費進捗率(累計)	%	45	88	97	100	↗
「新栄団地建替事業」建替戸数	戸	48	144	144	192	↗

2. えべつ未来戦略(建設部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦略 1 にぎわいと活力を創出するまちづくり	
戦略 2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり	
戦略 3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり	

3. 建設部の資源

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	4,517,813	4,199,635	5,250,913	5,463,515	4,875,577
	特別会計 (B)	0	0	0	0	0
	合計 (A+B)	4,517,813	4,199,635	5,250,913	5,463,515	4,875,577
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	75.00	74.00	73.00	73.00	72.00
	平均単価 (b)	7,764	7,670	7,618	7,627	7,687
	人件費 (a×b)	582,300	567,580	556,114	556,771	553,464
総 額		5,100,113	4,767,215	5,807,027	6,020,286	5,429,041